

令和7年2月28日

島本町立第一小学校
校長 下村 聡美 様

島本町立第一小学校 学校協議会委員 一同

令和6年度 島本町立第一小学校への提言

《令和6年度各回協議内容》

*第1回学校協議会（5月24日）

- ・学校経営方針について
- ・学校の様子について
- ・教育活動及び年間行事予定について

*第3回学校協議会（12月13日）

- ・学校教育自己診断速報値について
- ・めざす子ども像について
- ・学校の取り組み（人権参観等）および今後の予定について

*第2回学校協議会（10月24日）

- ・全国学力・学習状況調査、すくすくウオッチについて
- ・学校の取組、今後の予定について
- ・令和6年度学校教育自己診断について

*第4回学校協議会（2月28日）

- ・3学期の学校の様子について
- ・学校教育自己診断アンケート結果について
- ・今年度の教育活動等を振り返って

令和6年度の上記にある4回の学校協議会内容を踏まえ、下記のとおり取りまとめましたのでお取り計らいをお願いします。

記

学校協議会委員として島本町第一小学校学校協議会設置要項第3条に則り、学校長の求めに応じ、学校改善を進める立場から提言できることに大きな意義を感じています。

学校経営方針に基づく計画的な教育活動は、子どもたちの健やかな「学びと育ち」を育み、人間形成の礎となる重要なものだと思います。

快適な教育環境の下、子どもたちに「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性」という資質・能力を育て、「主体的・対話的で深い学び」を育むためにも全教職員が一丸となり、意図的・計画的かつ組織的に教育課程を実施し、質の高い教育活動を創造されることが重要であると考えています。

はじめに

本年度に入って、季節を問わず、マイコプラズマ肺炎、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザウイルスが広がりを見せ、特にインフルエンザ学級閉鎖も出る状況になりました。学校におかれましては引き続き感染予防に留意していただき、快適な集団生活を維持していただきたいと願うところです。

学校行事や学校生活等もコロナ前の形にほぼ戻り、授業参観、運動会参観等も盛況であったこ

とは児童、保護者のみならず地域にとっても喜ばしいことだと思います。

学習活動においても、地域に開かれた学校の取り組みがなされ、外部人材の活用や児童自らが地域に赴き活動する機会が設けられていました。ゲストティーチャーさん、ボランティアの皆様や地域の方々と学校の協働関係によって児童が成長している姿が感じとられました。

安全管理については、普段の学校生活のみならず、情報社会に飲み込まれないための方策も個々の学年の発達段階に応じて講じられていました。児童の命を守る取り組みについては今後も継続実施をお願いいたします。

また、学校の環境整備についても照明のLED化、体育館の改築等が行われました。学校環境が少しずつ整ってきたことは喜ばしいことです。

以下の提言につきましては、学校便り（ブログも含む）及び4回の学校協議会、学校行事参加での報告からなることをご承知おき願います。

***学力向上（授業力・学校力）について**

「自ら学び 相手を思いやる 健やかな子」の育成を教育目標とし、『基礎基本を身に付け、自ら学ぶ「かしこい子」』を育むために、学力、人権、特別支援の観点から、子どもたちに「思考力」、「想像力」、「表現力」を育成し、「協働的な学びの推進」をする今年度の取り組みがなされていきました。

特に本年度は研究主題として『つながる 深める 挑戦する 子どもの育成』～「対話の質を高める」ききたいわ はなしたいわ～、を掲げ情報の伝えあいを主眼とする取り組みがなされていきました。各学年で発達段階に応じた授業展開が行われ、『つけたい力』から逆算したカリキュラム作りがなされていたことはよかったと思います。

また、対話力を高める形態としてその場に応じた形態（ペア、グループ、全体）を考え、ひとり一人が自分の考えを持ち、対話に参加し、他者の考えを知り、自己力及び集団としての力を高める学習活動が行われていたのは素晴らしいことだと思います。

各々の考え（個人、グループ）を付箋に書き、台紙に張り合わせていき課題解決に導く手法もよかったと思います。

①大阪府教育庁スクールエンパワメント推進事業「確かな学びを育む学校推進校」として、本年度は特に「対話の質を高める」取り組みがなされ、各学年において発達段階に応じた目標設定の下に授業展開がなされ、さまざまな形態の中で児童の対話力が向上したのではないかと思います。調べ学習においても「学校図書館の活用」、「地域に出向く」、「インターネットで検索」等目的に応じた方策がなされ、自分の目と足で確かめる活動がなされていたことはよかったと思います。1単元学習で終わることなく、次に課題をつなげる学習の継続を望みます。

②本年も『全国学力・学習状況調査』、大阪府の『すくすくウォッチ』が実施されました。どちらも学力に係る項目については全国平均を上回る成果が報告されています。課題として挙げられている「他者の意見をもとに自分の考えを持ち、伝える」、「基礎的な知識をもとに総合的に判断する」という力をつける指導計画を継続実行していただきたいと思います。

また、『全国学力・学習状況調査』の質問紙調査結果では、「人の役に立つ人間になりたい」、「いじめはどんな理由があってもいけない」の肯定的割合が100%でした。人権学習の取り組みやキャリア教育および横断的学習の成果だと思います。「何事にも粘り強く取り組む」力の育成等、結果を受けた分析を次年度に生かしていただきたいと思います

③学校教育自己診断アンケート結果では、「つながる 深める 挑戦する 子どもの育成」の推進によって進んで学習に取り組む姿勢の成果が見受けられました。児童の読書に対する肯定的な割合が若干低くはありますが、図書館担当の先生による読書週間の『おたのしみ企画』の取り組みや掲示による読書啓蒙活動、図書ボランティアさんによる読み聞かせ活動、先生方による読み聞かせなど、児童の読書意欲につながる活動がなされており、今後の成果に繋がることを期待します。また、学校図書館司書の配置は児童の読書意欲向上だけでなく、各教科の学習意欲向上にも繋がるものだと思います。継続した配置を望みます。

④『みづまろキッズプラン』関連として、保幼からの授業見学や体験入学がおこなわれ、小学校児童においても「かがくあそび」学習がスムーズに実行できたことはよかったと思います。また、小中連携の取り組みである『つなぎングスクール』も継続されました。縦に開かれた教育の推進として今後の成果を期待します。

***心の教育について**

『相手を思いやり、人と協力できる「やさしい子」』を育むため「人権教育の充実」、「道德教育の充実」、「集団づくり」の取り組みがなされていました。

①人権参観ではたくさんの参観があり、一小の人権教育の一端を保護者や地域の方々知っていただくよい機会になったと思います。

当日は、各学年のめあてに沿った授業がおこなわれ、ひとり一人の意見を大切にした響きあう学習活動がみられました。道德だけでなく、他教科においても他者を思いやる授業形態がとられていたことはよかったと思います。

②ゲストティーチャーを招き、ボランティア活動の意義や大切さを学ぶ学習も昨年度に引き続き行われました。それを踏まえ、自分たちができることは何かを考える機会が持てたことは、今後につながるものであったと思います。

③“いじめ問題”については、島本町教育委員会作成のリーフレットを使った「いじめ予防授業」が行われるなど一人ひとりの人権を守る取り組みがなされていたことはよかったと思います。

また、学校だよりやブログを使用した問題意識の啓蒙活動の機会がありよかったと思います。

『学校教育自己診断』の保護者自由記述欄でも人権意識の高さが現れている記述がたくさんあり、これも人権教育の取り組みの成果だと思います。

④異学年交流については、学んだことを他者に広げる活動や遊びを通じての交流、平和学習における交流、クラブ活動や委員会活動での交流、保幼園児・中学生との交流等広がりが見られました。

***教育活動の充実について**

①運動会はたくさんの入場者で活気あるものとなりました。体育館工事の影響で参観制限はありましたが、全学年が一堂に集まり競技が出来たのは大変良かったと思います。午前中だけの開催は児童や保護者にとっても負担軽減となりよかったと思います。今後、団体演技の実施も検討願えば、より教育的価値が高まるのではないかと思います。

②参観はたくさんの保護者で盛況でした。活気が戻ってきたと思います。

③昨年同様、タブレットや視聴覚教材を使用した「響きあう授業」がなされていました。場面に応じた学習機器使用や、健康面に配慮した、AI機器にとらわれない紙ベースの授業形態カリキュラムも必要かと思います。図書館の積極的な活用も今以上に必要かと思われます。

④校外学習・宿泊行事・社会見学・町内施設見学の実施が予定通り行われたのはよかったと思います。

⑤地域の方々との交流活動も活発に行われました。内容を発展させながら継続していただきたいと思います。

***生活指導及び習慣について**

『望ましい生活習慣や生活態度で過ごす「健やかな子」』を育むために「生活指導の充実」、「食育の推進」の取り組みが行われました。

①クラブ活動・委員会活動等児童の活動内容も充実し、自主的な活動が行われていました。児童会の『えがお up 個性 up メリハリ up みんなでつくろう楽しい学校』の目標の下、各委員会が楽しい企画を実行できたことは自主性が育っていて喜ばしいと思いました。

また、児童会が中心となって『一小のやくそく』を見直す自主活動もよかったと思います。

②各学年が学習した内容を他学年に伝える学習が行われていました。このような機会を設けることは、個人はもちろんのこと、縦の関係を重視した人間関係の繋がりや、集団を意識した指導となるとと思います。継続した取り組みを期待します。

③避難訓練の実施は、危機管理意識を育てるよい取り組みだと思います。今回の時間を知らせずの避難訓練は臨機応変な行動を促すよい取り組みだと思います。

また、引き渡し訓練、集団下校訓練では保護者や PTA 地区補導委員さんと連携しながら安全確認ができたことはよかったと思います。

④学校教育自己診断アンケートの結果から、「学校はいじめをしてはいけないと教えてくれる。」の項目について児童の肯定的割合は昨年同様高く、評価されます

いじめ事象についてはどんな些細なことでも当事者がいじめだと感じる感情についての指導を継続して欲しいと思います。

⑤「食育」については、中学校栄養教諭の招致、ブログでの“学校給食週間”や行事ごとの献立紹介、PTA 主催の給食試食会等の取り組みがなされました。学校と保護者が連携して児童の食の意識向上につながる取り組みを今後も継続していただきたいと思います。

***教育環境整備について**

①照明の LED 化、体育館の改築が行われ授業環境が整備され、よかったと思います。

②ネットワーク設備保全については業者による定期点検、空調機器についても同様の業者点検をお願いします。

③プールの老朽化に伴う、学校プールの町内一元化の方策について課題の整理を十分していただきたいと思います。

***PTA や地域との連携について**

①PTA 活動も「子どもたちのために」をモットーに学年行事や種々のイベントの開催が行われました。また、各ボランティアさんをはじめ地域の方々のご協力も広がりを見せ新しい取り組みもなされたことはよかったと思います。共に、子どもを育てる姿勢を今後も継続していただきたいと思います。

②今年度も昨年に引き続き『安全懇談会』が開催され、地区委員さんをはじめ安全ボランティアさん、PTA の方々が一堂に集まり、子どもの安心安全についての協議・交流が行われました。今後も地域の方々と PTA の繋がりを深めていただきたいと思います。

***情報の発信力について**

①学校だよりでは、児童の学校での生活や一小の取り組みがよくわかりました。

②ブログ更新を頻繁に行っていただき、「児童の活動の様子」、「学校行事の様子」、「ボランティアさんや PTA 活動の様子」、「教職員校内研修や学習状況の様子」、「食育・図書館活動の様子」、「その他：学校生活全般にかかわる様子」がよくわかり安心しました。

③学校だよりの校長先生の文章は読みやすく、親しみを持てる内容でよかったと思います。

***その他**

教科用図書（教科書）が従来の紙ベースのものと、デジタル教科書の選択に近々なると聞きました。スウェーデンをはじめデジタル教科書を使用していた国々は、知識の定着力や思考力向上には紙ベースが優れているという調査結果から、デジタルから紙ベースに変更していると報道されています。従来通り紙ベースの教科用図書をベースに選択されることを望みます。

本提言に対し、学校としての見解及び教育委員会からの真摯なる見解を期待しております。